

大田区地域包括ケアを考える

ネットワーク作りの現状と課題
コーディネーターの活動を通して
見えること

大田区地域包括支援センター蒲田医師会
管理者 大屋 由枝

2013.8.24

大田区における地域包括支援センター の基本方針

1. 総合相談窓口としての機能を充実させる
2. 地域力を生かした見守りネットワークを構築する
3. 関係機関との連携を強化する

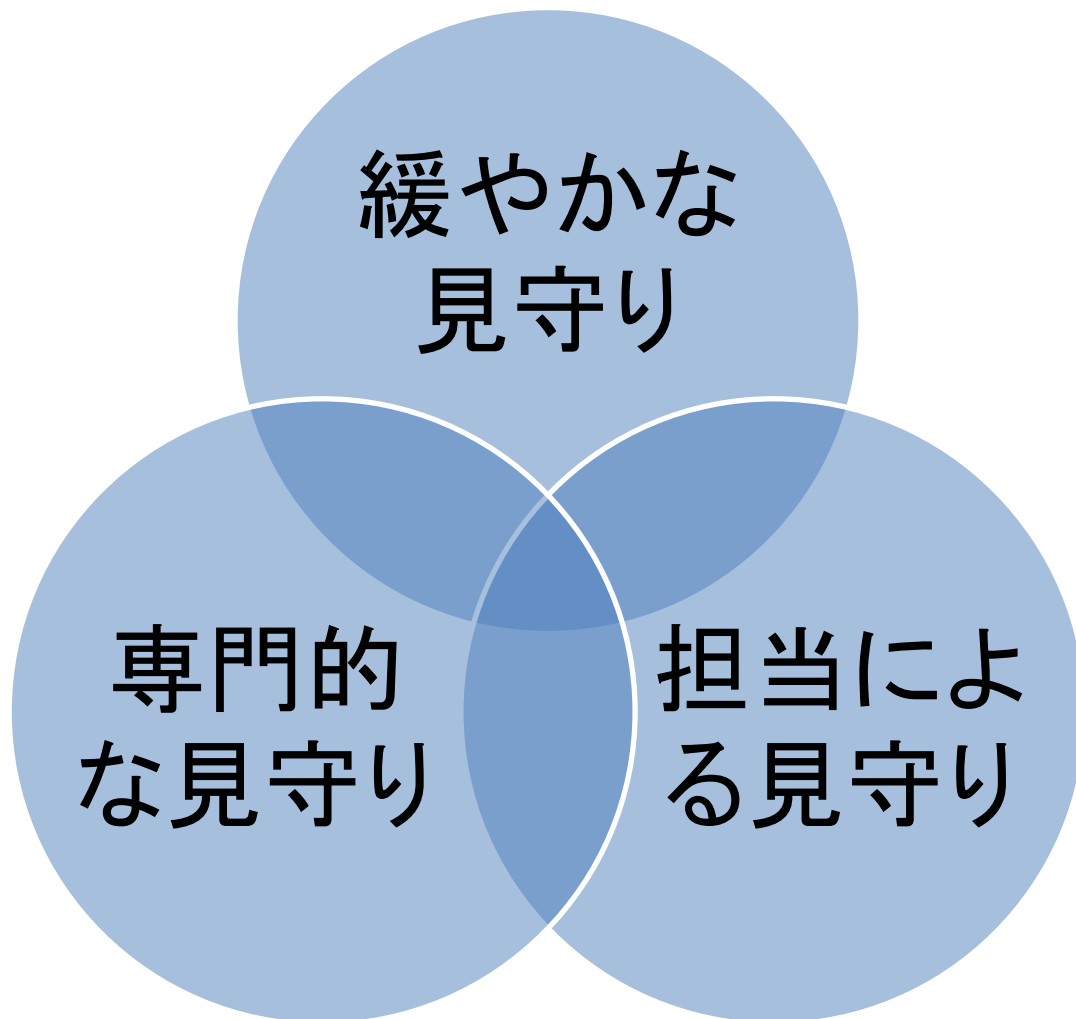
**H24.6月より全包括支援センターに
「高齢者見守りコーディネーター」を各1名配置**

高齢者見守りネットワーク業務

1. 専門機関との連携（医療機関、介護事業所等）
2. 見守りキーホルダー登録事業の推進
3. 地域でのセミナー等の開催（関係機関と地域に役立つ情報を発信）
4. 商店街等への協力依頼
5. 地域会議等への出席による見守り事業のPR
6. 支援が必要な高齢者把握のためや、地域からの情報提供による訪問

一部抜粋

<見守りの方法>



緩やかな
見守り

専門的
な見守り

担当によ
る見守り

大田区がめざす地域包括支援センターを核とした見守り体制

見守り・気づきのネットワーク

問題点がまだ外部へ（明確に）出現していない状態。

協力企業、NPO等

情報

民生委員

情報

自治会・町会等

情報

地域包括支援センター

- ・情報ターミナル・地域包括ケアの核
- ・サービスのコーディネート

適切な時期に、
制度による支援に
つなげられるか？

キーホルダー事業による
ネットワーク構築



ツール

専門職・専門機関を
招いたセミナー等



個別対応が必要となった
時に迅速な個別支援に
活かせるか

連携

介護事業者等

連携

医療機関等

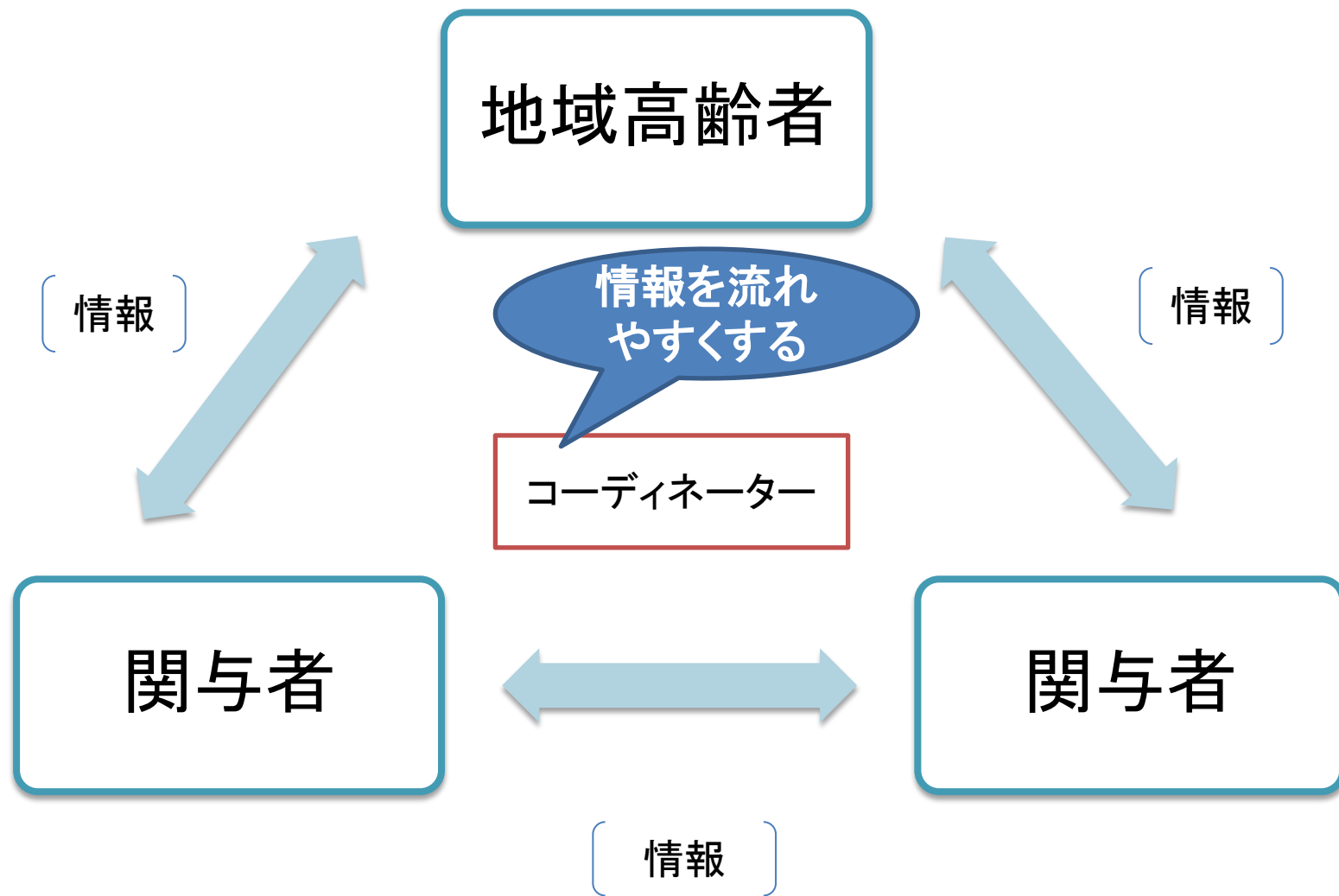
連携

警察・消防等

対応（継続的・迅速な個別支援のための）のネットワーク

生活上の支障が外部に出現している状態。情報を精査しての
効果的な処置が必要。

高齢者見守りコーディネーターの役割



これからの課題

- 介護事業所と何をどう連携するか

